



# 石川県リハビリテーションセンターニュース

## 目次

地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション専門職への期待 …	1
リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業 ……………	2～3
自助具製作ボランティア人材育成・活用事業 ……………	3
平成27年度リハビリテーションセンター研修事業 ……………	4
難病相談・支援センター事業 ……………	5
高次脳機能障害相談・支援センター事業 ……………	6

## 地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション専門職への期待

国では、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを生涯に渡って続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」を目指しています。また、今年度の第6期介護保険制度の見直しにともない、生活機能の低下した高齢者に対して、リハビリテーションの理念である『心身機能』、『活動』、『参加』のそれぞれの要素にバランスよく働きかけることが重要であり、地域のリハビリテーション専門職（以下、リハ専門職）の職能を活かした自立支援に資する取り組み、すなわちリハ専門職が、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等での介護予防の取組を地域包括支援センターと連携しながら総合的に支援できる体制づくりが重要となっています。

このような背景から、当センターでは新年度事業として、地域における高齢者や障害のある方の生活支援の担い手として期待されている理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハ専門職が、県内各地でより積極的に活動していただけるよう、新たに「リハビリテーション専門職活用支援事業」をスタートします。具体的には、地域のリハ専門職が市町事業に関与できる連携体制の充実を目指し、それぞれの県職能団体との連携により、リハ専門職が有する知識・技術だけではなく、地域包括ケアの視点や介護予防事業、行政施策等に関する理解を含めた教育・研修を右のとおり開催します。

今後とも、地域のリハ専門職が積極的に地域包括ケアシステムに関与できる連携体制の構築を目指していきたいと考えていますので、多くのリハ専門職の方々のご参加を期待しております。

平成27年7月4日（土） 13：00～17：20

- ・地域包括ケア実現に向けた介護保険制度の概要 県長寿社会課
- ・地域包括ケアと介護予防—リハ専門職は何をすべきか—  
兵庫県丹波県民局丹波健康福祉事務所 所長 逢坂 悟郎 氏
- ・第6期能美市介護保険事業計画とリハビリテーションとの連携  
能美市健康福祉部介護長寿課 高齢者かがやき支援室 課長 山下実千代 氏

平成27年7月5日（日） 9：00～14：40

- ・認知症の理解と現状、介護予防事業への適応と工夫  
県立高松病院 院長 北村 立 氏
- ・実践報告Ⅰ：小松市の新しい総合事業に向けて  
— 地域包括支援センター事業担当者の役割とリハ専門職との連携 —  
小松市長寿介護課 保健師 角地 孝洋 氏
- ・実践報告Ⅱ：能美市の取組からリハ専門職に求められていること  
能美市健康福祉部介護長寿課 高齢者かがやき支援室 理学療法士 笹島亜希子 氏  
作業療法士 高橋 理恵 氏
- ・参加型演習（グループワーキング）  
県理学療法士会代表、県作業療法士会代表、県言語聴覚士会代表

## リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業

障害のある方が、できる限り住み慣れた地域で本人の身体特性を生かした自立的な日常生活・社会参加ができるよう、身近な地域で相談及び福祉用具等を用いたリハビリテーション技術支援（以下、リハ技術支援）を受けられる相談支援体制づくりを目指しており、今年で3年目になります。



### 1. 障害（児）者の自立に向けた支援機関連携モデル事業

障害のある方に関わる支援者が、実際の事例を通してケース検討会を行いながら支援者同士のネットワークを強化し、県内各地域で適切なリハ技術支援を提供するモデル事業を実施しています。

昨年度は、小松市、津幡町、かほく市、七尾市・中能登町の4カ所がモデル地域となり、地域の相談支援専門員、福祉用具専門相談員及び当センター職員等が連携し、障害のある人が自立的かつ快適な生活を営めるように「ほっとあんしんの家」や最新の福祉用具等を試用体験しながら、具体的なリハ技術支援を実施しています。

なお、今年度も県内4地域（自立支援協議会単位）においてモデル事業を展開し、各地域でリハ技術支援の普及、多職種によるチームアプローチの促進、相談支援体制の充実等につながることを期待しています。

### 2. 補装具の適合・供給人材スキルアップ事業

地域におけるリハ技術支援ならびに相談支援体制の充実を図るには、適切な補装具等を適合・供給できる人材のスキルアップが不可欠です。このため、H25年度から①自立支援型サービスの視点を重視したプランニング研修と、②補装具に関する適合・選定・改良・製作等の実践的技術研修の2つの研修を実施しています。

今年度のプランニング実践研修は能登中部保健福祉センターを会場に、補装具適合・製作実践的技術研修は当センターにおいて「座位保持装置」をテーマに開催しますので、是非ご参加ください。

#### ① 自立支援型サービスの視点を重視したプランニング実践研修（会場：能登中部保健福祉センター）

【目的】機能障害があっても福祉用具や環境調整により、その人らしい自立的な生活を実現するためのプランニング手法を学ぶことを目的に研修を実施します。

【対象】障害者相談支援専門員、介護支援専門員、市町職員、地域包括支援センター職員等

回	日時	内容および講師	備考
1	6月24日（水） 10:00～12:00	講義名：身体の特性を生かした自立度の高い生活の実現をめざして 内 容：福祉用具を用いて自立度の高い社会生活を実現する可能性とそのために必要な視点を学ぶ 講 師：NPOバーチャルメディア工房さぶ 理事長 上村 数洋氏 金沢美術工芸大学 名誉教授 荒井 利春氏	講義形式
	6月24日（水） 13:00～15:00	講義名：自立を視点においたプランニング実践について 内 容：能力を生かしたリハビリテーション技術支援の具体的なケアプランの実践例を学ぶ 講 師：県内の相談支援専門員、福祉用具相談専門員、リハビリテーションセンター職員	講義形式
2	7月22日（水） 10:00～13:00	講義名：生活の中で活用する福祉用具の考え方 内 容：生活の中で活用する福祉用具の基本的な考え方について実技をとおして学ぶ（車椅子、コミュニケーション機器を中心） 講 師：リハビリテーションセンター職員	演習形式
	7月22日（水） 14:00～16:00	講義名：自立を視点においたアセスメントへの取り組みポイント 内 容：見立てのポイント、関係機関との繋ぎについて学ぶ 講 師：ケアマネウイズだいでんの花 社会福祉士 主任介護支援専門員 小島 操氏	講義形式
3	8月19日（水） 13:30～16:30	講義名：事例演習 内 容：実際に事例を用いてプランニングを行う 講 師：ケアマネウイズだいでんの花 社会福祉士 主任介護支援専門員 小島 操氏	演習形式

注 詳細については、各所属への送付案内または県リハビリテーションセンターホームページをご覧ください。

## ② 補装具に関する適合・選定・改良・製作等の実践的技術研修(会場：県リハビリテーションセンター)

【目的】 身体に障害のある方の機能を代償する手段として、補装具はなくてはならない福祉用具です。各々の身体特性に応じた補装具の適合には、医学的、工学的知識が必要になります。そのため、障害のある方へ適切な補装具等を活用したリハ技術支援が進められる人材の育成を目的に、本年度は「座位保持装置」をテーマに研修を実施します。

【対象】 医師、リハ専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）、福祉用具専門相談員 等

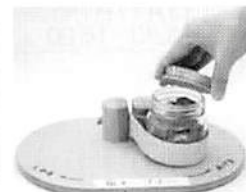
回	日時	内容および講師	備考
1	8月1日(土) 14:00~17:00	講義名：「生活動作からみたポジショニング、シーティングの重要性」 内容：適確なポジショニングやシーティングを行うことで動作の可能性を学ぶ 講師：作業療法士 岸本 光夫氏	講義形式
2	9月12日(土) 14:00~17:00	講義名：「重度な障害がある方のシーティングの評価」 内容：変形、呼吸、摂食等を考慮した座位姿勢の考え方と評価の仕方学ぶ 講師：福井県こども療育センター 理学療法士 辻 清張氏	講義演習形式
3	10月24日(土) 14:00~17:00	講義名：「座位保持装置の実現にむけて①」 内容：評価内容を活かした実際の座位保持装置の処方、製作について学ぶ 講師：横浜総合リハビリテーションセンター テクニカルアドバイザー 飯島 浩氏	講義演習形式
4	12月19日(土) 14:00~17:00	講義名：「補装具制度」「具体的な座位保持装置プランニングの実践」 内容：・座位保持装置の制度について ・補装具制度を利用する上でのプランニングの進め方と注意点について 講師：県身体障害者更生相談所職員、リハビリテーションセンター職員	講義演習形式
5	1月16日(土) 10:00~16:00	講義名：「座位保持装置の実現にむけて②」「事例演習①」 内容：・座位保持装置をプランニングするための機能と構造について学ぶ ・事例演習① 講師：(株)コーヤシステムデザイン 代表取締役 松野 史幸氏	講義演習形式
6	2月6日(土) 14:00~17:00	講義名：「事例演習②」 内容：実際に事例を通した座位保持装置の適合演習を行う 講師：リハビリテーションセンター職員	演習形式

注 詳細については各所属への送付案内または県リハビリテーションセンターホームページをご覧ください。

## 自助具製作ボランティア人材育成・活用事業

H27年4月の介護保険制度改正にともない、要支援者の訪問介護、通所介護が市町の地域支援事業に移行され、要支援者に対する自立支援の取り組みが今後ますます重要になります。生活機能が低下した高齢者・障害者の在宅生活の自立を促進するには、日常生活用品や衣服、住環境等の工夫が必要となり、これらの取り組みにより生活の質の改善等につながります。食事・家事・整容・入浴・排泄・娯楽など様々な生活場面で誰かの手助けが必要な方でも、ちょっとした道具「自助具」の工夫により、それまで一人でできなかったことが自分でできるようになり、生活の幅が広がります。

また、身体や生活の状況が変化する進行性疾患（難病）の方が使う自助具等は、タイムリーかつ適切な提供が必要になるため、身近な地域での製作や適合支援が求められます。このため本事業では、現役時代の職能を活かした地域人材、工業系学生等のボランティアを募り、各地域の地域包括支援センターや相談支援事業所等からの依頼で、地域のリハ専門職とボランティアがチームを組んで自助具等を製作検討して提供できる仕組みづくりを目標にした人材育成を進めます。具体的には、県内の技術者（メーカーOB等）や工学系の学生等を対象に自助具等の製作に関わるためのセミナー等を開催し、自助具製作ボランティアの育成を図ります。



# 平成27年度 リハビリテーションセンター研修事業

## 1 リハビリテーション支援指導研修

リハビリテーション専門職やリハビリテーションに関わる職員への知識の習得や技術の向上を目指すための研修会です。

### (1) リハビリテーション医療専門職研修

日時	内容および講師	会場	対象者
7月11日(土) 14:00~17:00	地域現場での循環動態の診方とリスク管理の考え方 講師:榊原記念病院 理学療法士 齋藤 正和氏	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等
9月26日(土) 14:00~16:00	地域生活を支える高次脳機能障害へのアプローチ - 注意障害を中心に - 講師:横浜市総合リハビリテーションセンター 作業療法士 山崎 文子氏		
1月23日(土) 14:00~17:00	地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションへの期待 - 医療・介護連携、食支援、緩和ケアに焦点を当てて - 講師:あおぞら診療所 院長・理事長 川越 正平氏		
3月5日(土) 14:00~16:30	地域生活を支える自動車運転 - リハビリテーション専門職の役割(仮) - 講師:井野辺病院 総合リハビリテーションセンター 作業療法士 加藤 貴志氏		

### (2) 教職員リハビリテーション研修

日時	内容および講師	会場	対象者
7月30日(木) 10:00~15:30	特別講演「将来を見据えた姿勢ケアと活動について(仮)」 講師:静岡県立こども病院 作業療法士 鴨下 賢一氏 分科会「いろいろな姿勢をとることの大切さ」 講師:リハビリテーションセンター職員 福祉用具の展示	いしかわ 特別支援学校	特別支援学校、特別支援学級、一般学級等の教職員

## 2 福祉用具研修

福祉用具に関する知識の習得や技術の向上を目指すための研修会です。

### (1) 補装具研修

日時	内容および講師	会場	対象者
6月27日(土) 14:00~16:30	平成27年度補装具制度の概要とその活用について 講師:県身体障害者更生相談所職員、県リハセンター職員	県リハセンター	補装具契約業者、リハ専門職等

### (2) 職場環境改善研修

日時	内容および講師	会場	対象者
8月28日(金) 13:30~16:20	職場環境改善を視点とした福祉用具の活用(仮) ①管理者の立場から 講師:社会福祉法人 自生園 課長 西場 芳江氏 ②介護職の立場から 講師:社会福祉法人 自生園 介護福祉士 久木 孝洋氏 「介護労働者設備等導入奨励金」事業説明 講師:石川労働局職業安定部職業対策課 職員	県リハセンター	高齢者及び障害者 関連施設の管理者

### (3) 福祉用具活用研修

日時	内容および講師	会場	対象者
10月20日(火) 13:30~16:00	介護負担軽減に向けて ~移乗動作に必要な身体機能を知る~(仮) 講師:特別養護老人ホーム こすもす 副施設長 理学療法士 水上 直彦氏	県リハセンター	高齢者及び障害者 関連施設職員
11月17日(火) 13:30~16:00	介護負担軽減に向けて ~福祉用具の活用~ 講師:リハビリテーションセンター職員	県リハセンター	高齢者及び障害者 関連施設職員
12月6日(日) 10:00~16:30	「したい」想いを叶えるために ~ICFからみた用具支援~(仮) 講師:神戸学院大学 教授 作業療法士 古田 恒輔氏	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等

### (4) バリアフリー啓発普及事業

日時	内容および講師	会場	対象者
10月11日(日)	テーマ:生活(くらし)への思いを叶える 福祉用具やユニバーサルデザイン用品の紹介および相談	県産業展示館	高齢者及び障害者 関連施設関係者 等

## 3 地域リハビリテーション推進事業

【市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修】本紙1ページ参照

## 4 リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業

【補装具等の適合・供給人材スキルアップ研修】本紙2-3ページ参照

## 難病相談・支援センター事業

難病相談・支援センターでは、難病の患者やその家族からの病気や療養上の悩みなどに関する相談、患者会・医療機関・福祉制度などの情報提供、難病に関する研修会を実施しています。

### 1 難病医療講演会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月27日(木) 14:00~16:00	講義：皮膚筋炎・多発性筋炎について 講師：金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科 診療科長 川野 充弘 氏 相談会	県リハセンター	皮膚筋炎・多発性筋炎患者、家族の方
10月29日(木) 14:00~16:00	講義：重症筋無力症について 講師：国立病院機構医王病院 神経内科 本崎 裕子 氏 相談会	県リハセンター	重症筋無力症患者、家族の方
11月20日(金) 14:00~16:00	講義：サルコイドーシスについて 講師：金沢大学附属病院 呼吸器内科 金沢大学附属病院 眼科 渡辺 知志 氏 竹本 裕子 氏 相談会	県リハセンター	サルコイドーシス患者、家族の方

### 2 ピアサポート研修、ピアカウンセリング

日時	内容および講師	会場	対象者
9月15日(火) 13:30~16:00	講演と実践：ピアサポートについて(仮) 講師：富山大学人文学部准教授 伊藤 智樹 氏	県リハセンター	難病患者団体代表者・高次脳機能障害家族会員
3月15日(火) 13:30~16:00			

### 3 セルフマネジメント研修、患者交流会・学習会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月8日(土) 13:30~15:30	講義と実技：笑いヨガでからだも心もスッキリ！ 講師：ヨガインストラクター 松本 節子 氏 ヨガインストラクター 石黒 優子 氏	県リハセンター	難病患者・家族の方、医療・保健・福祉関係者等
10月31日(土) 14:00~16:00	講義と実技：音楽で楽しい毎日、楽しくリハビリ 講師：音楽療法士 太郎田 真理 氏	県リハセンター	難病患者・家族の方、医療・保健・福祉関係者等

### 4 就労相談会

日時	内容および講師	会場	対象者
10月6日(火) 13:30~15:30	ミニレクチャーと相談会： － 難病・高次脳機能障害のある方の就労について － 講師：ハローワーク金沢 難病患者就職サポーター	県リハセンター	難病患者、高次脳機能障害者、家族の方

#### 新たな難病対策

難病の患者に対する医療等に関する法律が平成26年5月に成立し、平成27年1月から施行されています。これにより、公平かつ安定的な医療費助成制度を確立することとなり、対象難病が56疾病から110疾病に拡大され、7月にはさらに196疾病が追加される見通しです。

また、児童福祉法も平成26年5月に改正、平成27年1月から施行され、新たな小児慢性特定疾病医療費助成制度がはじまりました。当センターでは、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業により、自立・就労の円滑化を図るため、患児と保護者等に対する相談支援、情報提供、関係機関との調整を行います。

## 高次脳機能障害相談・支援センター事業

高次脳機能障害相談・支援センターでは、当事者や家族、支援機関等からの相談に応じるほか、各種研修会や教室を開催しています。

### 1 生活支援教室

高次脳機能障害によって家庭生活や学校、職場等にうまく適応できず、精神的に落ち込んだり悩んだりする方々がいらっしゃいます。そのような方々を対象に、毎週水曜日に生活支援教室を開催し、当事者同士の交流や活動を通じて、障害認識を深めたり代替手段等の情報を得たりして、就労や就学、福祉サービスを利用しながらの安定した地域生活へつなげることを目指しています。参加を希望される方は当センターまでご相談ください。

- ・対象者：65歳未満の高次脳機能障害者で、集団活動に参加できる方
- ・内容：スピーチ、体操、認知レクリエーション、グループワーク、外出、学習会等

### 2 家族教室

日時	内容および講師	会場	対象者
7月3日(金) 13:30~15:30	講義：「高次脳機能障害の理解と対応について」 リハビリテーションセンター職員 「使える社会資源について」 上荒屋クリニック介護相談センター 所長 馬渡 徳子氏 「家族会紹介」 高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 交流会	県リハセンター	高次脳機能障害者の家族
2月8日(月) 13:30~15:30	講義：「高次脳機能障害の理解と対応について」 リハビリテーションセンター職員 「使える社会資源について」 恵寿金沢病院 ソーシャルワーカー 荒木 千保子氏 「家族会紹介」 高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 交流会		

### 3 就労相談会

日時	内容および講師	会場	対象者
10月6日(火) 13:30~15:30	講義：難病・高次脳機能障害のある方の就労について 講師：ハローワーク金沢 職員 相談会	県リハセンター	難病患者、高次脳機能障害者及び家族、支援関係者

### 4 専門職研修

日時	内容および講師	会場	対象者
9月26日(土) 14:00~16:00	講義：地域生活を支える高次脳機能障害へのアプローチ － 注意障害を中心に － 講師：横浜市総合リハビリテーションセンター 作業療法士 山崎 文子氏	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等

### 「高次脳機能障害患者と家族の会つばさ」のお知らせ

毎月第3日曜日14時から、「ほっとあんしんの家」にて定例会を開催しています。料理教室や生活訓練キャンプ等の行事のため会場が変更となる場合もありますので、詳細については高次脳機能障害相談・支援センターまでお問い合わせください。

#### 問い合わせ先

石川県リハビリテーションセンター  
TEL (076) 266-2860 FAX (076) 266-2864  
E-mail iprc@pref.ishikawa.lg.jp  
URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri>

高次脳機能障害相談・支援センター  
TEL (076) 266-2188 FAX (076) 266-2864  
URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/koujinou/>

難病相談・支援センター  
TEL (076) 266-2738 FAX (076) 266-2864  
E-mail nanbyou@pref.ishikawa.lg.jp  
URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/nanbyou/>

「相談は傾聴、親身、親切に」  
リハビリテーションセンターでは  
県民ニーズに応えるため、  
より質の高いサービスの提供を  
目指しています。

編集・発行

石川県リハビリテーションセンター  
〒920-0353 金沢市赤土町ニ13-1